

2019年度

事業報告

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

I 公益目的事業

1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

1) 企画展示

太田記念美術館において下記のとおり展覧会を開催した。開館日数236日、特別展4回、企画展5回。年間入館者数は、当初の目標である73,000名に対し16,882名多い89,882名(目標対比123%)。台風19号の影響により2日間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため19日間、合計21日間の臨時休館を余儀なくされたが、入館者数は平成30年度114,678名(開館日数263日)、平成29年度92,354名(開館日数261日)に次ぐ、開館以来三番目の記録となった。

2019年度	展覧会名	会期	開館日数	入館者数(人)				
				有料	無料	総計	1日平均	うち小中生
特別展	没後170年記念 北斎 －富士への道	前期 4/ 4 ~ 4/29 後期 5/ 3 ~ 5/26	44	15,501	1,004	16,505	375	555
企画展	江戸の凸凹 －高低差を歩く	6/ 1 ~ 6/26	22	8,313	378	8,691	395	135
企画展	青のある暮らし －着物・器・雑貨	7/ 2 ~ 7/28	24	7,217	480	7,697	321	217
企画展	異世界への誘い －妖怪・霊界・異国	8/ 2 ~ 8/28	23	12,017	911	12,928	562	718
特別展	生誕250年記念 歌川豊国 －写楽を超えた男	9/ 3 ~ 9/29	24	5,589	457	6,046	252	82
企画展	歌川国芳 －父の画業と娘たち	10/ 4 ~10/27	19	5,523	252	5,775	304	70
特別展	ラスト・ウキョエ 浮世絵を継ぐ者たち －恵俊彦コレクション	前期 11/ 2 ~11/24 後期 11/29 ~12/22	41	8,319	586	8,905	217	113
企画展	開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 －歌麿・北斎・応為	1/11 ~ 2/ 9	26	20,275	756	21,031	809	176
特別展	鍋木清方と齋藤英朋 近代文学を彩る口絵 －朝日智雄コレクション	2/15 ~ 3/22	13	2,076	228	2,304	177	19
合計			236	84,830	5,052	89,882	381	2,085

入館料 企画展：一般 700円、大高生500円、中学生以下無料
特別展：一般1000円、大高生700円、中学生以下無料

2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版画を71点購入した。

2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

3) 収蔵品の保存

- ① 防虫防菌のため、収蔵庫の燻蒸作業を行った(2020年3月)。
- ② 浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

1) 講座等の開催

- ① 下記の講座を開催した。

ア) 江戸文化講座

浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げ、さまざまな分野の専門家から江戸の文化を学ぶという趣旨の下、下記の連続講座(全3回)を開催した。

受講料:全3回5,000円(パスポート会員3,000円)、受講料に展覧会入場料含む。

◇第1回 青が結ぶやきもの世界

	開催日	演題・講師	受講者数
第一講	7月13日(土)	「日本陶磁史「超!入門」 中世の甕から江戸時代の食器まで」 陶磁研究家 森 由美	51名
第二講	7月20日(土)	「連携企画展「青のある暮らし —江戸を染める伊万里焼—」によせて」 戸栗美術館学芸員 小西 麻美	50名
第三講	7月27日(土)	「旅する染付 —青に結ばれる西アジア・中国・日本・欧州」 出光美術館学芸員 柏木 麻里	46名

◇第2回 ライバル浮世絵師

	開催日	演題・講師	受講者数
第一講	1月18日(土)	「歌麿と栄之 —寛政期を彩った二人の美人画絵師」 美術史家 鈴木 浩平	57名
第二講	1月25日(土)	「浮世絵随談〈国貞と国芳〉」 国際浮世絵学会 常任理事 新藤 茂	53名
第三講	2月 1日(土)	「芳年と清親」 練馬区立美術館主席学芸員 加藤 陽介	54名

イ) 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、下記の講座を開催した。参加費は無料。

開催日	演題・内容	参加者数
8月 3日(土)	夏休み子ども講座「浮世絵をつくってみよう」 ワークショップ参加者が、摺り師指導の下、実際に浮世絵版画の摺りを体験し、その制作工程を学んだ。 協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	21組 42名

ウ) 特別講座

◇「江戸の凸凹 —高低差を歩く」展に関連して、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
6月 2日(日)	トークイベント「浮世絵で歩く江戸と東京の凸凹」 東京スリバチ学会会長 皆川典久 当館学芸員 渡邊晃	104名

◇「歌川国芳 一父の画業と娘たち」展に関連して、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
10月14日(月・祝)	「国芳の娘たち 一芳鳥・芳女の生涯と画業」 当館学芸員 日野原健司	81名

◇若手の浮世絵研究者の育成を目的として、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
10月 5日(土)	「初代豊国門下の中堅三羽鳥 一国安・国丸・国直について」 藤沢市藤澤浮世絵館学芸員 兼松藍子	44名

(敬称略、肩書きは講座開催当時)

エ) 学芸員によるスライドトーク

展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを下記のとおり開催した。参加費は無料。

展覧会名	開催回数	受講者数
江戸の凸凹 一高低差を歩く	4回	405名
青のある暮らし 一着物・器・雑貨	3回	237名
異世界への誘い 一妖怪・霊界・異国	3回	351名
歌川国芳 一父の画業と娘たち	2回	137名
開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 一歌麿・北斎・応為	5回	640名
合計	17回	1770名

② 日曜映写会の開催

企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

上映内容 『浮世絵 江戸文化の精華』(制作:太田記念美術館) 他
年間上映回数 36回
観覧者総数 1,367名

2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の美術館入場料を引き続き無料とした。また、教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を引き続き実施した。美術館隣接地の大規模マンション工事による騒音、振動が鑑賞環境へ影響を及ぼす懸念

から、年会費を通常7,000円のところ、6,000円に設定した。2019年度会員数は644名であった。

会員証提示により、有効期間内の展覧会期中、何度でも入館することができるほか、絵はがき等のオリジナルミュージアムグッズおよび有料講座受講料の会員割引、一年間有効の招待券を5枚贈呈、展覧会・催事案内送付等の特典を提供している。

4) 館外協力

① 教育機関等への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、教育機関の校外学習を受け入れた。また、調べ学習等への対応や、学芸員による展示解説、講義等、美術鑑賞教育を行った。

実施日	教育機関名・人数	内容
4月11日(木)	岩手県大槌町立大槌学園 中学生5名	調べ学習への対応

② 他機関への協力

美術品の貸出を下記のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
渋谷区立松濤美術館	女・おんな・オンナ ～浮世絵にみる女のくらし	2019. 4. 6～ 5.26	版画 3点
大分県立美術館	江戸浮世絵の黄金時代 The Ukiyo-e 歌川派 －豊春から国芳、広重まで	2019. 9.20～10.27	版画 8点 版本 1点 扇 2点
町田市立国際版画美術館	美人画の時代 －春信から歌麿、そして清方へ－	2019.10. 5～11.24	肉筆画 1点 版画 7点
たばこと塩の博物館	隅田川に育まれた文化 浮世絵に見る名所と美人	2020. 2.29～ 4.19	版画 3点

③ 調査研究依頼への協力

収蔵品の特別観覧の申請に対し、下記のとおり7件の研究に協力した。

観覧日	観覧者	調査内容
5月17日(金) 6月18日(火)	染谷美穂	鳥文斎栄之 肉筆画30点
5月26日(日)	慶應義塾大学 1名	歌川豊国他 肉筆画2点、版画28点、扇1点、版本4点
6月11日(火)	コロンビア大学、ウェズリアン大学 計2名	無款 肉筆画1点
6月15日(土)	早稲田大学 1名	北尾政美他 版画2点、扇1点
8月21日(水)	ハーバード大学 1名	歌川広重他 肉筆画15点、版画4点
10月22日(火)	法政大学 1名	歌川広重他 版画2点
10月22日(火)	東京大学史料編纂所、イリノイ大学 計2名	歌川広重 肉筆画1点

5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して学芸員が下記のとおり浮世絵の概要、展示解説等を行った。

展覧会名	人数
生誕250年記念 歌川豊国 ー写楽を超えた男	1団体 16名

展覧会名	人数
歌川国芳 一父の画業と娘たち	1団体 33名
開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 一歌麿・北斎・応為	1団体 40名
合計	3団体 89名

6) 広報活動

① マスメディア

・下記展覧会において記者内覧会を開催した。

「没後170年記念 北斎 一富士への道」展

「江戸の凸凹 一高低差を歩く」展

「青のある暮らし 一着物・器・雑貨」展

「異世界への誘い 一妖怪・霊界・異国」展

「生誕250年記念 歌川豊国 一写楽を超えた男」展

「歌川国芳 一父の画業と娘たち」展

「ラスト・ウキヨエ 浮世絵を継ぐ者たち 一恵俊彦コレクション」展

「開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 一歌麿・北斎・応為」展

「鏑木清方と鱒崎英朋 近代文学を彩る口絵 一朝日智雄コレクション」展

・特別展「生誕250年記念 歌川豊国 一写楽を超えた男」展、「鏑木清方と鱒崎英朋 近代文学を彩る口絵 一朝日智雄コレクション」展において、美術関係者を招待し、特別内覧会を開催した。

・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。

・浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は下記のとおり。

掲載・放送日	媒体	内容
4月 4日(木)	NHK 首都圏ニュース	「没後170年記念 北斎 一富士への道」展を紹介
6月18日(火)	朝日新聞 夕刊	「江戸の凸凹 一高低差を歩く」展紹介記事掲載
7月16日(火)	朝日新聞 夕刊	「美の履歴書」欄 歌川国貞「月の陰忍逢ふ夜 湯上がり」を紹介 (「青のある暮らし 一着物・器・雑貨」展出品作品)
8月23日(金)	NHK BSコンシェルジュ	「異世界への誘い 一妖怪・霊界・異国」展を紹介
8月28日(水)	The Japan Times	「生誕250年記念 歌川豊国 一写楽を超えた男」展 紹介記事掲載
10月16日(水)	産経新聞 朝刊	生活面記事「博物館キャラは文化芸術の水先案内人」にて当館 公式ツイッターのアイコン「虎子石」を紹介
1月18日(土)	TOKYOMX アートステージ	「開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 一歌麿・北斎・応為」展を紹介

掲載・放送日	媒体	内容
1月26日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 —歌麿・北斎・応為」展を紹介
1月28日(火)	朝日新聞 夕刊	「美の履歴書」欄 葛飾応為「吉原格子先之図」を紹介 (「開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 —歌麿・北斎・応為」展出品作品)
2月12日(水)	The Japan Times	「鏑木清方と鱒崎英朋 近代文学を彩る口絵 —朝日智雄コレク ション」展紹介記事掲載
3月13日(金)	毎日新聞 夕刊	新型コロナウイルス感染拡大を受け臨時休館中の美術館、博物 館のウェブを利用した活動を紹介(当館は公式ツイッターでの活 動が取り上げられた)

・美術館の周知および入館者増加を図るため、下記のとおり新聞広告を掲出した。

「没後170年記念 北斎 —富士への道」展	東京新聞朝刊
「青のある暮らし —着物・器・雑貨」展	東京新聞朝刊
「開館40周年記念 太田記念美術館所蔵 肉筆浮世絵名品展 —歌麿・北斎・応為」展	東京新聞朝刊、朝日新聞朝刊

・写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。

② 印刷物の製作・配布

- ・2019年度展示案内を館内にて配布した。
- ・各展示会のポスター・チラシおよび江戸文化講座、夏休み子ども講座のチラシを製作し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展示会、催事の周知に努めた。
- ・第36回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語/英語)を作成し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

③ ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

◇ウェブサイト

館案内、展示会、講座等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。

◇ソーシャルメディア

- ・ロコミによる情報の拡散を狙い、Twitterを活用して展示会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に行うことにより、集客力の向上および幅広い年齢層への認知度向上に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年3月1日より臨時休館となったことを受け、2月28日より自宅で過ごす人々に向け、開催延期となった「鏑木清方と鱒崎英朋」展の展示作品および収蔵品を、Twitterにて「#おうちで浮世絵」のハッシュタグとともに紹介した。その反響は非常に大きく、多くのメディアに取り上げられた。
- ・Twitterフォロワー数は2020年3月31日現在125,055名。

7) 他館との連携

- ① 「青のある暮らし」展において、戸栗美術館にて開催の「青のある暮らしー江戸を染める伊万里焼ー」展(7月2日～9月22日)と入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。
- ② 「生誕250年記念 歌川豊国」展において、国立劇場伝統芸能情報館にて開催の「歌川豊国ー歌川派の役者絵ー」展(10月2日～1月27日)とポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。
- ③ 「鏑木清方と鏑崎英朋」展において、弥生美術館にて開催の「もうひとつの歌川派?! 国芳・芳年・年英・英朋・朋世～浮世絵から挿絵へ……歌川派を継承した誇り高き絵師たち」展(1月7日～3月29日)と入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

8) 地域との連携

- ① JR渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちゃー」に今年度も参加し、館内にて紹介冊子を配布するとともに、入場料の相互割引に協力した。また、広報担当者が運営会議等に出席し、他館との情報交換を行った。
- ② 東京都が行う外国人旅行者向け観光事業「ウェルカムカード」に引き続き参加し、施設割引特典付ウェルカムカード持参の外国人観光客に対して入場料割引を行った。
- ③ 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかどく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。

9) ミュージアムグッズ等の制作・販売

- ① 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等制作、販売した。また、展覧会に関連したグッズ、復刻浮世絵版画、浮世絵関連書籍等を受託販売した。当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。
今年度に制作した太田記念美術館オリジナルのミュージアムグッズは下記のとおり。

・絵はがき 23種

通年販売：12種

「没後170年記念 北斎」展：2種

「異世界への誘い」展：2種

「生誕250年記念 歌川豊国」展：2種

「歌川国芳」展：1種

「ラスト・ウキヨエ」展：2種

「鏑木清方と鏑崎英朋」展：2種

・クリアファイル 1種

・額絵 1種

- ② 当館刊行の展覧会図録「鏑木清方と鏑崎英朋 近代文学を彩る口絵ー朝日智雄コレクション」を、弥生美術館にて委託販売した。
- ③ 「鏑木清方と鏑崎英朋」展において鎌倉市鏑木清方記念美術館のオリジナルグッズを受託販売した。

10) その他

- ① 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について引き続き和英表記を行い、英語版作品リストを作成した。また、英語対応の可能な事務職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。
- ② 特別展「没後170年記念 北斎」展、「ラスト・ウキヨエ」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館料割引を実施した。
- ③ 「生誕250年記念 歌川豊国」展において独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)の協力を得た。
- ④ 「生誕250年記念 歌川豊国」展、「歌川国芳」展、「ラスト・ウキヨエ」展を全て鑑賞することで、歌川派の歴史を体系的に学ぶという展覧会の企画意図により、「秋の歌川派フェスタ 豊国から国芳、芳年へ」と銘打ち、3つの展覧会全てに来場した入館者のうち先着400名に対し、オリジナルエコバッグをプレゼントした。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

- ① 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第36回浮世絵研究助成を公募し、2020年1月28日、応募9編全てを選考委員会で審査した結果、次の研究テーマ2編を入選とした。
選考委員は、竹内誠氏(東京都江戸東京博物館名誉館長)、河野元昭氏(東京大学名誉教授)、及川茂氏(日本女子大学名誉教授)、大久保純一氏(国立歴史民俗博物館教授)、大石学氏(東京学芸大学名誉教授)の5名。選考委員の肩書きは選考会当時のもの。

入選者	入選研究テーマ	助成金
Alison J Miller	視覚的貴族の創案 明治時代の浮世絵	500,000円
安田 吉人	会席浮世絵	400,000円

- ② 2019年10月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第10号』に、平成29年度第34回浮世絵研究助成入選者である加藤一輝氏、陳卓卿氏の、助成による研究成果に基づいた論文の寄稿を受け、掲載した。
- ③ 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、若手研究者の講演会を開催した。講演会詳細については3頁「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」のうち、特別講座の項に記載。

5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

1) 作品の調査研究

- ① 展覧会開催のため収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- ② 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実に支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

2) 資料・図書の充実

- ① 収蔵品の調査研究、図録制作のため、写真撮影を行った。
- ② 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- ③ 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。

④ 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。

3) 展覧会図録等の刊行

① 以下の展覧会の開催にあわせ、図録を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

- ・「生誕250年記念 歌川豊国 ー写楽を超えた男」展
渡邊 晃 「歌川豊国の画業」
赤木 美智 「文化期の美人画について ー歌川豊国を中心にー」
- ・「ラスト・ウキヨエ 浮世絵を継ぐ者たち ー恵俊彦コレクション」展
日野原 健司「恵俊彦氏と「ラスト・ウキヨエ」展」
- ・「鐫木清方と鱒崎英朋 近代文学を彩る口絵 ー朝日智雄コレクション」展
日野原 健司「華麗なる木版口絵の世界」

② 『太田記念美術館所蔵 名品図録』を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

渡邊 晃 「太田記念美術館のコレクションについて」

③ 『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第10号』を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

日野原 健司「歌川国芳の娘たち ー芳鳥・芳女の生涯と画業ー」

赤木 美智 「歌川豊広の墨摺絵における絵手本学習 ー橋守国と英一蝶学習を中心にー」

6. 美術館の運営

1) 美術館改修工事

昨年度に引き続き、老朽化した設備を中心に改修工事を行った。主な工事内容は下記のとおり。
受変電設備更新工事、空調制御装置更新工事、地下貸室個別空調機更新工事 他

2) 施設の整備

- ① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努めた。
- ② 汚水槽内の配管工事を行った。
- ③ 収蔵庫の加湿器エレメント交換を行った。
- ④ トイレ排気ファンの更新工事を行った。
- ⑤ 地下貸室の防水工事を行った。
- ⑥ 排煙機について修理・更新可否のための点検を行った。

3) 新型コロナウイルスへの対応

① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月1日より31日までの展覧会期19日間を臨時休館した。

(「鐫木清方と鱒崎英朋」展会期)

- ② 感染症防止のため、美術館入口にアルコール消毒液を設置した。
- ③ 美術館入口、手すり、トイレなど、多くの入館者の手が触れる箇所について、消毒液による清掃を強化した。
- ④ 感染症への注意喚起ポスターを美術館入口およびトイレに掲示した。
- ⑤ 当館の感染症防止対策、来館者へのお願いを館内に掲示し、ウェブサイト上にも随時情報を更新した。
- ⑥ 当館ウェブサイトおよびツイッターにて新型コロナウイルスへの対応状況を随時更新した。
- ⑦ 4月以降の開館に向け、感染症防止対策への取り組みを行った。

4) その他

台風19号の影響により、来館者および関係者の安全確保のため、10月12、13日の2日間臨時休館した。
(「歌川国芳」展会期)

II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわぬに賃貸した。

III 理事会・評議員会等の開催

2019年6月7日	2019年度第1回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	平成30年度事業報告および収支決算の承認の件 理事の候補者承認の件 評議員会開催の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数4名、出席5名、欠席2名、監事出席2名	
2019年6月22日	2019年度第1回評議員会(決議の省略)	
決議事項	平成30年度事業報告および収支決算の承認の件 理事の選任の件	書面決議 書面決議
2019年7月9日	2019年度第2回理事会(決議の省略)	
決議事項	太田順子を代表理事に選定し、理事長とする件 太田幹人を代表理事に選定し、副理事長とする件	書面決議 書面決議
2020年3月23日	2019年度第3回理事会(決議の省略)	
決議事項	令和2年度事業計画および収支予算承認の件 美術館改修工事資金の積立承認の件	書面決議 書面決議

IV 官公庁への届出等

2019年6月27日	内閣府へ事業報告等の提出(平成30年度)を電子申請
2019年7月25日	内閣府へ変更の届出(理事の就退任)を電子申請
2020年3月28日	内閣府へ事業計画書等の提出(令和2年度)を電子申請

2019年度事業報告の附属明細書について

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020年6月

公益財団法人 太田記念美術館